

令和3年度 行政評価調書

■ 施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.130～131)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ4 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち(生活基盤)		
施策名	4-6 交通		
所管部	建設部	関係部	なし
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p style="text-align: right;">(第7次総合計画 基本構想 P.42)</p> <p>地域経済と暮らしを支え、人と地域の結びつきと交流に寄与する交通ネットワークの確立を目指します。</p> <p>このため、地域の特性にふさわしい、将来にわたって持続可能な地域公共交通網形成の実現に向けて取組を進めます。</p> <p>また、市民や本市を訪れる誰もが、安全・安心で円滑に移動できる交通環境づくりに努めるとともに、北海道新幹線や北海道横断自動車道など新たなネットワークの実現に努めます。</p>		
市民アンケート 指標	地域公共交通に対して満足している市民の割合	基準値	目標値
		34.3%	基準値より増

■ 施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.130～131)

小施策 及び 指標	(1) 持続可能な交通ネットワークの構築		
	指標	バスの「運行頻度」・「運行間隔」における不満足割合	基準値 49.2% 目標値 基準値より減
	(2) 交通基盤・交通環境の整備・充実		
	指標	市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合	基準値 45.6% 目標値 基準値より増

令和3年度 行政評価調書

■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ4 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち(生活基盤)					
施策名	4-6 交通					
所管部	建設部	関係部	なし			
市民アンケート 指標	地域公共交通に対して満足している市民の割合	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		34.3%	30.2%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	△	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指 標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	バスの「運行頻度」・「運行間隔」における不満足割合	49.2%	48.8%	◎	基準値より減
	(2)	市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合	45.6%	39.5%	△	基準値より増
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今 後の方向性	C-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
上記特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小施策(1)の指標については推移が順調であるが、施策に対する市民アンケート指標の推移が不一致となっている。 ・バスダイヤ以外の項目により地域公共交通に対する満足度が低下している可能性もある。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の推移を見ながら、地域公共交通に対する満足度に与える影響に配慮し、今後も交通体系の維持確保や利便性の向上に向けて、検討を進めていく。 ・小施策(2)については指標の推移が不調であるが、市民生活に必要な交通環境の整備について、要望活動や事業継続を引き続き推進していく。 					

■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今 後の方向性	C-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う		
上記特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○各指標の推移等は、一次評価のとおりと考える。 ○公共交通の利便性向上に向けた検討を進めること。 ○施策4-2道路・河川において特記事項とした道路の維持補修等に係る事業を推進することにより、持続可能な交通ネットワークの構築にもつながるため、道路整備担当部局とも連携し、交通基盤や交通環境の整備や充実を図ること。 				

令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1)持続可能な交通ネットワークの構築

(第7次総合計画 基本計画 P.131)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	バスの「運行頻度」・「運行間隔」における不満足割合		平成30年		49.2%	基準値より減	
指標推移	◎	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
						48.8%	
指標推移	◎	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)				
主な取組	<p>★鉄道とバスの乗り継ぎ環境の改善など、地域公共交通網における利便性の強化(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>★バス路線の効率化や適正な運賃の設定の検討など、持続可能な交通体系の構築に向けた取組(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○市民・交通事業者・行政等が連携・協働した地域公共交通利用に向けた仕組みづくり(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○企画乗車券等による利用促進策の検討など、地域公共交通の利用促進策の展開(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○鉄道駅のバリアフリー化など安全な歩行空間の確保(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○北海道新幹線新小樽(仮称)駅の二次交通対策の検討(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○並行在来線の経営分離に伴う広域交通等のあり方の検討(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p>						
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① バスロケーションシステム導入事業費補助金(03895)		② 60,000 千円		③ 新幹線・まちづくり推進室	
		④ バス利用者の利便性を図るため、市内を運行するバスにGPSを搭載し、バスの正確な運行情報を提供できるバスロケーションシステムを導入する。					
		⑤ GPS搭載バス台数 120台 ※国費10/10					
	2	① 小樽市内路線バス均一運賃改定		② - 千円		③ 新幹線・まちづくり推進室	
		④ 持続可能なバス路線の構築のため、小樽市地域公共交通活性化協議会において市内均一区間運賃について協議し、運賃改定を実施する。					
		⑤ 令和元年度 関係部長会議の開催 1回 協議会の開催 2回 ※そのほか、北海道運輸局札幌運輸支局やバス事業者との協議を実施					
	3	① 小樽市地域公共交通活性化協議会の開催		② - 千円		③ 新幹線・まちづくり推進室	
		④ 小樽市地域公共交通網形成計画に基づく事業について、市民・交通事業者・行政等で構成される小樽市地域公共交通活性化協議会において、協議、検討を行う。					
		⑤ 令和元年度 協議会の開催 4回 分科会の開催 3回 令和2年度 協議会の開催 3回 分科会の開催 1回					
	4	① 地域公共交通活性化事業費(03071)		② 668 千円		③ 新幹線・まちづくり推進室	
		④ バス利用者の利便性の向上や新たなバス利用者の掘り起こしを行うため、バスの乗り方、市内のバス停、バス路線図を掲載したバスマップを作成し、配布する。					
		⑤ バスマップ作成部数 10,000部					
5	① 鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金(02719、03703)		② 41,053 千円		③ 新幹線・まちづくり推進室		
	④ 鉄道駅にエレベーターの設置等を行い、バリアフリー化を図る。						
	⑤ 整備駅 南小樽駅、小樽築港駅						
6	① 北海道新幹線新小樽(仮称)駅の二次交通対策の検討		② - 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室		
	④ 北海道新幹線新小樽(仮称)駅の開業効果を活用したまちづくりを進めるためのアクションプランを策定。開業を見据え、その効果を最大限活用したまちづくりのため設置する官民連携組織において駅周辺のまちづくりに関することのほか、二次交通対策、ソフト対策に関するものを検討。(仮称)新幹線活用アクションプラン策定推進事業費、北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費の一部として実施。						
	⑤ 会議の開催: 令和元年度…専門部会(まちなみ・交通アクセス)1回 令和2年度…専門部会(まちなみ・交通アクセス)3回						
7	① 並行在来線対策調査費負担金(03574)		② 1,022 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室		
	④ 北海道新幹線並行在来線対策協議会が実施する函館線(函館・小樽間)に係る収支予測等調査に対する負担金						
	⑤ 会議参加: 令和元年度…ブロック会議1回、幹事会3回 令和2年度…協議会、ブロック会議、幹事会 各1回						

指標推移 の要因等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によるバス利用者の減少により、市内バス路線の減便等を行ったため、このことが指標推移に影響を与えた可能性がある。 ・バスロケーションシステムの導入やバスマップの作成・配布により、バス利用者の利便性は向上したものとする。 	
指標推移 への対応	1	<ol style="list-style-type: none"> 1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
対応の内容	<p><対応の内容を箇条書きで記入></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況の推移をみながら、臨時交付金の活用の検討も行き、現状の公共交通網の維持確保について検討する。 2、小樽市地域公共交通網形成計画に基づき、利便性の向上など、施策の実施を推進する。 	

令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2)交通基盤・交通環境の整備・充実

(第7次総合計画 基本計画 P.131)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合		令和元年		45.6%	基準値より増		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			45.6%		39.5%			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。(目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 → ◎、実績値 < 標準値 → △)					
主な取組	<p>★都市内交通及び広域交通に係る道路整備等について、国や北海道などへの要望活動を実施(建設部都市計画課、建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○長期未整備都市計画道路の必要性等を総合的に点検・検証の上、必要な計画の見直しを行い、適正な道路網を形成(建設部都市計画課)</p>							
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 全国街路事業促進協議会負担金(01014)		② 18 千円		③ 建設部都市計画課		
		④ 会を通じて、調査研究・研修会・講習会等を実施し、整備基準及び技術水準の向上を図り、街路事業の促進や要望活動を強力に展開する。						
		⑤ 全国及び北海道ブロックの総会の開催、国土交通大臣及び国会議員への要望活動						
	2	① 北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会負担金(00123)		② 194 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室		
		④ 北海道横断自動車道(黒松内～小樽間)の早期整備及び道路整備に必要な予算の確保等を国や北海道などへ要望する北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会の負担金						
		⑤ 期成会における要望活動: 令和元年度…道内・中央各2回(春・秋)、令和2年度…道内・中央各2回(春・秋)						
	3	① 小樽・余市間国道新設改修期成会負担金(00122)		② 53 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室		
		④ 小樽～余市間の国道の維持管理に関する予算の安定的な確保等について関係機関に対して要望する小樽・余市間国道新設改修期成会の負担金						
		⑤ 期成会における要望活動: 令和元年度…道内・中央各2回(春・秋)、令和2年度…道内・中央各2回(春・秋)						
	4	① 小樽国道協議会負担金(00124)		② 34 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室		
		④ 後志地域に関わる高速交通ネットワークの早期整備や国道の整備促進及び維持管理について関係機関に対して要望する小樽国道協議会の負担金						
		⑤ 期成会における要望活動: 令和元年度…道内・中央各2回(春・秋)、令和2年度…道内・中央各2回(春・秋)						
5	① 道央圏連絡道路整備促進期成会負担金(00126)		② 49 千円		③ 建設部・新幹線まちづくり推進室			
	④ 道央圏連絡道路(国道337号)の整備促進、早期完成について関係機関に対して要望する道央圏連絡道路整備促進期成会の負担金							
	⑤ 期成会における要望活動: 令和元年度…道内・中央各1回、令和2年度…道内・中央各1回							
6	① 都市計画道路見直し推進事業費(03531)		② 5,887 千円		③ 建設部都市計画課			
	④ 長期未整備都市計画道路について、必要性や実現性等を総合的に点検・検証した上で、計画の変更・廃止を含めた見直し方針を策定し、同方針に基づき変更・廃止等の都市計画変更を適宜行う。							
	⑤ 小樽市都市計画審議会 2回開催、小樽市都市計画道路見直し専門委員会 3回開催、見直し方針の策定に向けて「小樽市都市計画道路見直し方針検討業務」を委託発注							
指標推移の要因等	前回調査と比較すると、設問に対して「どちらでもない」と回答した層が増加した結果、指標が悪化した。「どちらでもない」と回答した層が増えた要因としては、コロナ禍による外出自粛等により、交通機関を利用する機会や、自家用車で移動する機会が減ったことによると考える。							
指標推移への対応	2	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う						
対応の内容	< 対応の内容を箇条書きで記入 > ・現在、長期未整備となっている都市計画道路について、見直し方針の検討を進めていく。 ・近年、老朽化の著しい道路の改良や維持補修のほか、冬季間における円滑かつ安全な交通を確保するための除排雪に対する要望が多い中、交通基盤や交通環境の整備や充実を図っていく必要がある。							